

優秀賞

【工法の種類】

在来工法による耐震改修（現行法規遵守）

【応募者名】

鈴木章建築設計事務所

●建物概要

所在地：愛知県田原市
 建築年：昭和6年
 階数：2階
 床面積：1階 168.93㎡
 2階 79.50㎡
 計 248.43㎡
 （改修後 241.11㎡）

●工事内容

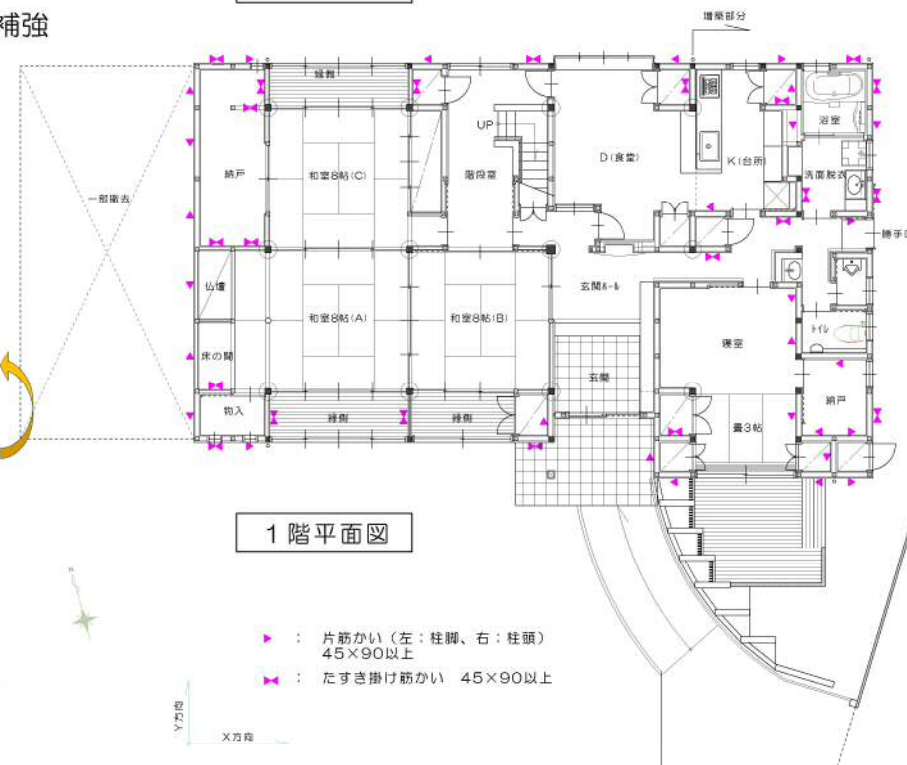
- ・新設基礎による補強
- ・耐力壁及び接合部の補強
- ・屋根の軽量化



新設基礎に移設



庭に曳き家した後に新設基礎



『残したい。次代のために』



改修後



一部解体撤去・移動・増築



改修前



■ 耐震診断値		
	X方向	Y方向
改修前 2F	0.36	0.53
1F	0.30	0.34
改修後 2F	1.21	1.27
1F	1.34	1.39
■ 工事費	12,800,000円（リフォーム代金等は含まない）	
■ 工事期間	6ヶ月	

この建物は昭和初期建築で、和室が6室ある昔ながらの田舎住宅です。施主は70歳を過ぎ、寝室を2階から1階へ移したいという要望でした。今まで2階で寝ていた理由は、1階北側の陽当たりの悪い部屋には抵抗があったからだそうです。しかし、現状の間取りではどうしても理想の寝室が1階部分に出来そうもありませんでした。また、近い将来、東南海地震が必ず来る事を考えると、新築か耐震リフォームの選択しかありません。いろいろ打ち合わせを重ねた結果、愛着のある我が家を次代に残そうと考え、離れに住んでいるお孫さん達の部屋を2階に移し全面的に耐震リフォームする事にしました。息子さん夫婦を交え、これからの人生設計＝住宅設計を綿密に打ち合わせし、現行法規遵守による耐震改修を行う事になりました。その結果、敷地内移転（北側へ約1m、西側へ約3m移動）・一部解体撤去・増築・リフォームと大規模な耐震改修になり、次代に繋がる家造りになりました。今まで80年以上育ててくれた我が家が、これからも50年は家族を見守ってくれると信じています。

【講評】

築83年の古い住宅の耐震性を2~4倍に向上させた例である。元の建物の面影を残しつつ、美しい内外装に生まれ変わらせている。改修によって、1階に日当たりのよい寝室を実現した点が素晴らしい。施主の喜ぶ顔が目に見えようである。歴史ある建物をこのような形で補強し、今後も末永く使えるようにされた施主の決断と、それを実現した設計者、施工者の努力を高く評価したい。